

学生担当者報2

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 中山祥吉 編集責任者 / 東井申雄

TEL 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp
TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp> Happist <https://happist.net>Vol. 468
立教 189
2026 年
1 月 25 日発行

「食わず嫌い」

私はおぢばの高校に進学させていた。卒業後はただ、卒業後は本部勤務をさせていただきました。そのため、学生生徒修養会(以下、学修)には一度も参加したことがなく、この学修に関わるようになったのは、スタッフとしてお声掛けいただいたことがきっかけでした。

当初はビデオ係として、レンズ越しに学修の様子を見ていましたが、学生と接するスタッフの姿を見て「大変そうだな」「自分にはあの学生の雰囲気についていくのは無理だ」と、勝手に決めつけていました。しかし、数年後になりました。実際に現場の中に身を置くより、実際に現場の中に身を置くよ

うになってから、その思いは大きく変わりました。信仰に迷いを抱えながらも、講話やグループワークを通して、真剣に信仰と向き合おうとする学生の姿から、こちらが学ばされることが数多くありました。不安な表情で参加していた学生が、終わる頃には生き生きとした表情に変わっていく姿を見るたびに、こ

の行事の持つ力を実感していました。終了後に「来てよかつた」「もつと早く知つていればよかつた」と語ってくれる学生の言葉に、私自身が励まされました。

この春も、学修大学の部、高校卒業生コースが開催されます。学生担当者の先生方には、学生が食わず嫌いをせず、おぢばで学ぶこの尊い場へ一步踏み出せるよう、根気よくお声掛けいただき、送り出していただけますよう宜しくお願いいたします。

現場で学生に接することは自分には無理だと決めつけていた

「食わず嫌い」であったと感じます。

あの頃を振り返ると、まさに「食

#328みんなでおぢばへ
教祖140年祭 学生おぢばがえり大会

立教 189 3.28

学生担当者報

教区	直属	教務支庁	府内大教会
・京都	・本愛	2月 7 日	大教会
・高知	2月 10 日	2月 14 日	大教会
・中和	2月 22 日	2月 24 日	大教会
・越乃國	2月 23 日	2月 24 日	大教会
・生野	2月 23 日	2月 24 日	大教会
・双名島	2月 23 日	2月 24 日	大教会
・名東	2月 23 日	2月 24 日	大教会
・松阪	2月 23 日	2月 24 日	大教会
・川之江	2月 23 日	2月 24 日	大教会

学生層育成者講習会 日程・会場案内

期日	立教 189 年 2 月 25 日	時間	15 時 30 分受付 16 時開始
会場	教序 4 階講堂		

※一月例会はございません

お知らせ

此花 2 月 24 日 詰所

詰所

報告

立教 188 年 12 月 16 日～189 年 1 月 15 日

12 月 24 日 広報部部会
25 日 委員会 例会

去る 12 月 25 日、教序 4 階講堂において
「12 月例会」を開催。出席は 27 教区、101

直属。
1 月 4 日 おせち学生ひのきしん隊
(～7 日)

各地の動き

教区	人事
・山口	教区学生層育成者講習会 〔直属学生担当委員長辞令交付〕 ・古川久和(朝倉・菊浩)
・山口	越智副委員長出向

9 日	大学の部研究室
9 日	高校卒業生コース研究室
9 日	教祖百四十年祭
8 日	担当者活動部部会
8 日	委員会
5 日	学修部部会
5 日	プロジェクトチーム会議
10 日	学生部部会
10 日	高校卒業生コース研究室
10 日	教祖百四十年祭
10 日	担当者活動部部会
10 日	学生おぢばがえり大会
10 日	プロジェクトチーム会議
10 日	事務局連絡会

業務記録

二月例会

此花 2 月 24 日 詰所

立教 188 年 12 月 16 日～189 年 1 月 15 日

「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会」道の学生決起の集い 開催報告

天理教学生会では、12月20日、21日の2日間に渡り、第7・8・9母屋を宿舎として「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会」道の学生決起の集いを開催し、総勢228名（31教区94名、31直属47名、学生スタッフ87名）の学生が参加しました。

参加した学生は、3月28日に開催される「教祖百四十年祭 学生おぢばがえり大会（以下、大会）」に向けて、熱心にプログラムに取り組みました。

1日目は、大会についての理解を深めるために、これまでの歴史を振り返つたり、大会で行われるプログラムの想いを共有したりしました。また、真柱様よりメッセージを頂戴することの有難さを再確認しました。さらに、武田直也実行

委員長より大会開催に対する想いを聞きました。

2日目には、東右第一棟4階講堂に

て、「全体アワー」と称した交流の場を持ち、それぞれの学生会における大会に対

しての疑問や悩みを実行委員会や各学生会に問い合わせ、より充実した大会となるよう、意見交換をしました。それぞれの学生会が、大会に向けてより一層勇み立つ時間となりました。

最後には、2日間のプログラムで感じたことを振り返り、お互いに大会への気持ちを高めました。そして、参加者全員で大会まで無事にお連れ通りいただけたことを振り返り、お互いに大会への気持ちは、幕を閉じました。

3年前、私は初めて学修のスタッフをつとめさせていただきました。当時は仕事を優先する生活に追われ、ご用をつとめたい気持ちはありませんでした。でも、おやさまがお手引きくださり、お膝元でお育てくださいました。この時も迷いは消えず、自分でいながら、忙しさを理由に逃げていったのですが、自分がありました。この時も迷いは消えず、「最初で最後にしよう」と自分に言い聞かせるようにして参加を決めました。

迎えた学修では、先生方のお話や真剣に学生さんの姿、スタッフの皆さんの中精の心に触れました。その中で、お道にはこんなにも温かく、人の心を動かす力があるのだと胸を打たれ、自然と心が前を向いていくのを感じました。

その後、修養科での日々や本部スタッフとしてのご用を通して、逃げてきた私をそれでもおやさまがお手引きくださり、お膝元でお育てくださいているのだと感じるようになりました。

今でも不安でいっぱいなのが正直なところですが、おやさまにお喜びいただけよう、心を込めてご用をつとめさせていただきます。

人材育成部部員 古田修子

「立教百八十九年 おせち学生ひのきしん隊」開催報告

参 加 者 の 声

○高校生

帰参者の方々に「ただいま」「ありがとう」「ご苦労様です」等、言つていただけたことがとても嬉しく、ひのきしんをさせていただいた本当にありがとうございました。

今回初めておせちひのきしん隊に参加させていただいて、全部印象に残るほど楽しかったです。新しい出会いも含めて、自分の信仰に対する考え方とか色々とプラスになるものがたくさんありました。ひのきしんも楽しくさせていただけました。

○大学生（高校生班班付）

班員が、短い時間で慣れない環境の中、ひのきしんを仲間と一緒にやろうと思つてくれることが嬉しかったです。自分がみんなを導いたり注意したりする立場かと思つたけど、むしろ学ばされることの方が多かったです。

新春の親里で開かれた「お節会」に際し、本年も「おせち学生ひのきしん隊」を結成し、「喜びあふれる笑顔と明るい声のさわやかなおもてなし」を合言葉にひのきしんに励みました。今回のおせち学生ひのきしん隊には全国各地から189名（高校生93名、大学生96名）の学生が参加し、1月4日から7日まで第7・8・9母屋にて合宿生活を送りました。

「お節会」ではテント会場において、給仕や誘導のひのきしんをさせていただきました。寒い中ではありました、一人でも多くの方に喜んでいただけるよう、ひのきしん打ち合わせや反省会を行うなどして、精一杯のおもてなしを心がけ、学生

たちはひのきしんを通し多くの喜びを分かち合うことができました。また、宿舎では、主に班別での時間を過ぎ、ひのきしんの振り返りやゲームなどを通して、おぢばで出会った仲間たちと親睦を深めました。さらに、期間中には40名（初席6名、中席34名）の学生が別席を運ばせていただきました。

学生たちは感謝の心を胸にご恩報の気持ちは、ひのきしんに臨み、それぞれの持ち場での自主的な取り組みや人との交流を通して信仰の喜びを深く味わい、有意義な4日間を過ごしました。